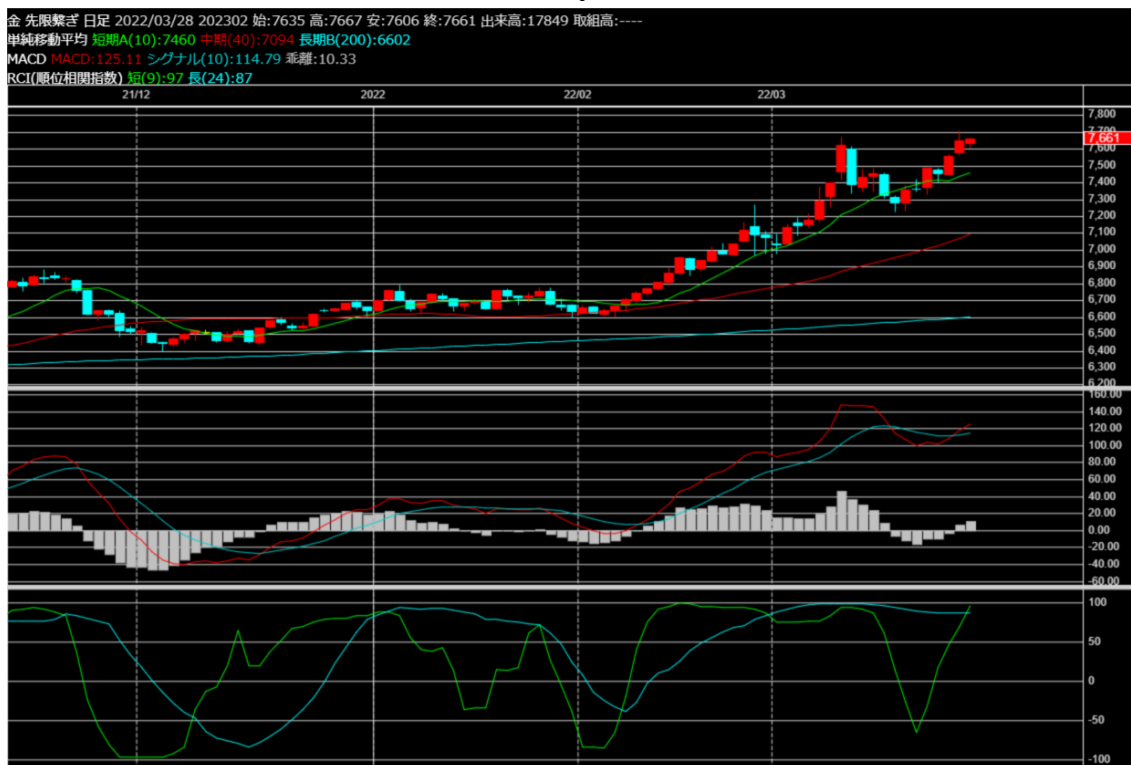


## <金標準先物、モルガンスタンレーはQ2のNY金の予想 2000ドル・・・>



(出所：オアシス)

英国政府は、2月28日に英国企業に対してロシア中央銀行、財務省、富裕層向けファンドとの取引を禁じているが、3月25日にロシア制裁のガイダンスを改訂し、ロシアを国際市場から締め出し、制裁処置から逃れるために英国企業がロシア中銀の金準備金を売却する事を援助する事は出来ないと明確にしている。また米国財務省は24日にロシアが関与する金関連取引は米国当局の制裁対象となる可能性があるという警告するガイダンスをウェブサイトに掲載している。

またモルガン・スタンレーのアナリストは世界のインフレ率の上昇は「地政学的な不確実性が金価格を適度に上昇させるはずである」と示唆し、第2四半期(4月～6月)にはNY金が2000ドルを試すと予想している。特に金標準先物は円建て価格であり、現在の為替市場における円安の動きは国内金価格を押し上げている。ソシエテ・ジェネラルのアナリストは1990年以來の安値150円に達する可能性があるという述べるなど、依然と金標準先物は先週の高値7709円を上回る可能性は秘めていると予想される。

### <テクニカル>

金標準先物の日足をMACDとRCIで見ると、MACDではMACDが上昇し、シグナルを上回るなど強気を示唆している。またRCIでも短期が上昇し、長期が維持する水準を超えるなど強気を示唆しているが、日足が10日移動平均線と乖離しており、7500円に対する調整安も予想されることから、7500円に近付くと反発を強めて来ると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 971,500 円(2022 年 3 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 3 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>